2007年度　　腎・尿路系Ⅰ　　　　（2007/1/29）

1、腎臓について正しい記述はどれか？

a、成人男子の腎臓の表面には、深い切れ込みがある。

b、腎門部において前方より腎動脈、腎静脈、尿管である。

c、腎乳頭には、近位尿細管が開口する。

d、腎と腎筋膜の間膜は、脂肪組織で満たされている。

e、右結腸曲は、右腎の後ろにある。

2、正しいのを選んでください。

a、腎結石があると変形赤血球が見られる。

b、ネフローゼ患者では、高血圧を呈する。

c、糸球体基底膜は、Ⅳ型コラーゲンで構成される。

d、IｇGは正常糸球体基底膜を、通過する。

e、微小変化型ネフローゼ症候群では、血尿が見られる。

3、急性糸球体腎炎で、見られないものは？

a、肉眼的血尿

b、高血圧

c、MPO-ANCA

d、C3の一過性低下

e、hump

4、腎血流の特徴について正しいもの2つ選べ。

a、血液量は、皮質より髄質に多い。

b、筋原反応は輸入細動脈より輸出細動脈に現れる。

c、マクラデンサcellが[Cｌ－]低下を感知すると、輸入細動脈が、拡張する。

d、アンジオテンシンⅡのＡＴⅠ受容体に、輸出細動脈に多く発現している。

e、尿細管糸球体feed backは、ＲＰＦを一定に維持する。

5、微小変化型ネフローゼ症候群について正しいものを選べ。

a、慢性経過をたどり、腎不全に至る。

b、ステロイド抵抗性を示す。

c、タンパク質選択性良好である。

d、終結傾向を示す。

e、再発をしない。

6、ＩｇＧ腎症の予後に影響するもの。

a、蛋白尿量

b、血尿

c、血清ＩｇＡ値

d、血清補体価

e、赤沈値

7、4才男性、左背部痛　39℃、蛋白尿、5-10/赤血球（尿道造影の写真がありました。）

a、尿道下裂

b、膀胱尿管逆流症

c、ターナー症候群

d、副腎性器症候群

e、腎盂尿管移行部狭窄賞

8、25歳男性。

（主訴）尿量減少

（現病歴）これまでに検診を、受けたが異常を指摘されなかった。5日前から発熱、水溶性下痢が続き、体重が4kg減少した。尿量減少、全身倦怠感を認めたため受診。

（尿所見）蛋白（－）　血尿（－）糖（－）比重1.020　Ｎａ＜10mEq/l　Ｋ：30mEq/l

（血清生化学）ＢＵＮ　50mg/dl Cr:2.0mg/dl Na:134mEq/l K:4.4mEq/l Cl:109mEq/l

（腹部超音波）両側腎　10ｃｍ大　水腎症（－）

この症例の正解はなにか？

a、腎前性

b、腎性

c、腎後性

d、慢性腎不全

e、ネフローゼ症候群

9、腎血管性高血圧を疑う因子として関係の薄いものを選べ。

a、腹部Ｘ線写真で左右の腎の大きさに差がある

b、突然の高血圧発症

c、高血圧の家族歴がある

d、腹部外傷による高血圧

e、若年性（20歳代）の高血圧

10、腎機能に関して正しいものはどれか？

a、糸球体濾過量（ＧＦＲ）は、腎血漿流量（ＲＰＦ）よりも大きい。

b、糸球体濾過量（ＧＦＲ）は、実際の尿量より大きい。

c、ネフロン以降尿細管でＮａ＋の99％以上は、再吸収される。

d、腎不全患者のクレアチニンクリアランスは、100ml/min以上である。

e、血清クレアチニン濃度が2.5mg/dlの場合、正常値である。

11、蓄尿機序について正しいのはどれか。

a、小児では、括約筋の発達が未熟である。

b、下服神経（交感神経）は、膀胱を弛緩させる。

c、骨盤神経（副交感神経）は、膀胱頚部を収縮する。

d、膀胱平滑筋は随時弛緩と収縮を繰り返すが弛緩の方が時間が長い。

e、腹圧が上がると、膀胱よりも尿道に圧力がかかる。

12、Ｘ線を透過する結石を選べ。

a、リン酸カルシウム結石

b、キサンチン結石

c、リン酸マグネシウム結石

d、アンモニウム結石

e、サンゴ状結石

13、尿路感染症について正しいものを選べ。

a、急性尿道炎には、発熱が必ずある。

b、梅毒の第1選択薬は、セフェム系である。

c、尿路結核症の確定診断は、一般的培養法である。

d、淋菌性尿道炎は、尿管狭窄を起こすことがある。

e、クラミジア尿道炎は抗生物質は効かない。

14、24歳女性。一週間前から頻尿、残尿感、排尿時痛があったが、仕事が忙しく奉仕していた。昨夜から悪寒をともなう39度の発熱で受診。血圧120/70mmHg、脈拍96回/分、38.5度があり、咽頭痛、咳、腹痛、下痢なし。右肋骨脊柱角をたたくと痛い。

a、腎機能障害

b、多量の蛋白尿

c、白血球尿

d、低カリウム血症

e、全身の発疹

15、関連の深いものを選べ。

a、ARPKD－肝のう胞

b、ARPKD－ポッター症候群

c、ADPKD－肝線維症

d、膀胱尿管逆流症－IVP

e、水腎症－VCG

16、低Ｎａ血症について

a、血漿Ｎａが135mEq/l以上。

b、嘔吐と下痢による溶質喪失。

c、抗利尿ホルモン分泌過剰による。

d、集合管の水チャネルの遺伝子異常。

e、飲水制限をする。